

「核データニュース」、No.44 (1993)

話 題 (I)

日本原子力学会  
(核データ・炉物理) 合同特別会合

昨年、名古屋大学工学部で行われた日本原子力学会1992年秋の大会に於いて、「(核データ・炉物理) 合同特別会合」が次のとおり行われた。この会合は、核データ整備にたずさわる側とそれを利用する側との意見交換の場として1976年日本原子力研究所東海研究所で開かれた原子力学会秋の分科会から始まったものである。

日 時 1992年10月21日(水) 14:00 ~ 16:00

会 場 C会場(1号館、131講義室)

座 長 (法政大学) 中嶋 龍三

(1) 原研に消滅処理研究の進展(60分+質問10分)

- 原子炉を用いた消滅処理 (原研) 吉田 弘幸

- 加速器を用いた消滅処理 (原研) 西田 雄彦

(2) わが国における崩壊熱基準(20分+質問5分)

(京大) 木村 逸郎

(3) FP核データ専門家会議と評価国際協力(20分+質問5分)

(東芝) 吉田 正

このうち、(1)と(2)について講演の内容をまとめていただいたので掲載する。

(3)については「核データニュース」No.43、pp.7~12(1992)と同じ内容なので割愛した。